

# 平和を祈念する作文

問 福祉課総務係 42-8100

今年で16回目となる「平和を祈念する作文」には、小学生から一般までたくさん作品が寄せられ、総数は270編になりました。

今年のテーマは「世界が平和になるために」。数多くの優れた作品の中から次の方々が受賞され、8月12日に市民文化会館で行われた平和祈念・戦没者慰霊式で表彰されました。

## 小学生の部

### 最優秀賞

金野 摩帆さん(釈迦内小6年)

### 優秀賞

金澤 惻佳さん(城南小5年)

渡邊 安奈さん(城南小5年)

日景 美晴さん(釈迦内小6年)

## 中学生の部

### 最優秀賞

藤原 真梨子さん(東中3年)

### 優秀賞

近藤 佳穂さん(東中3年)

## 高校・一般の部

### 最優秀賞

岩澤 隆子さん(金坂)

### 優秀賞

佐々木 千枝子さん(天下町2区)



左から金野さん、金澤さん、渡邊さん、日景さん、藤原さん、近藤さん、岩澤さん

最優秀賞の中から、金野摩帆さんの作品を紹介します



## 正しい方向へ 進んでいくために

釈迦内小学校 六年 金野 摩帆

今、私たちは、友達と仲良く遊び、家族と楽しく過ごし、何不自由なく、毎日を暮らしています。

しかし過去の日本に、太平洋戦争や東京大空襲があったということも事実です。戦争に勝利することを最優先にするために、着る物や食べ物のすべてが制限されました。戦争によって輸入がストップし、兵器がなくなるのと公園の銅像などを、強制的に回収しました。

また、私たちと同じような年齢の男子は、戦争の訓練をさせられ、女子は工場で働かされました。本来であれば、学校に通い、勉強などをするはずの子どもたちが、明日、どうなるか分からない日本のために働く日々は、不安と恐怖でいっぱいだったと思います。大人も、召集令状が届くと戦争に行かなければなりません。家族のもとを離れ、死に行かなければならないと思うと悲しくなります。

私は、このような出来事が起きてしまった原因は、国を大きくしようとする欲望だ

と考えました。自分の国を盛り上げようとする気持ちは分かりますが、他の国の人の意見を聞かず、自分の主張を通し、それを否定されると命を奪うということは、とてもおそろしいことです。たとえば、そのことが間違っていると分かっている人がいたとしても、言ったら殺されてしまうという恐怖の中ではとても言うことができません。

だから、間違っていることを認めず、正しいことを言うことが出来る社会をつくるのが平和な世の中をつくるためには必要不可欠だと考えます。また、言われた方は、それを受け入れるという気持ちをもつことも大切だと考えます。この二つがあれば、たとえ、誰かが間違っていたとしても、それを正しい方向にみんなを変えていくことができます。みんなで正しい方向へと進んでいく社会をつくるためにも、私は自分の意見をしっかりとつとめようと相手をお願いすることの二つを大切にして生きていきたいと思っています。

(原文のまま掲載しています)